



この成果報告は
競輪の補助を受けて報告しています。

会員各位

2022年4月吉日
一般社団法人 日本歯車工業会
JGMATEプロジェクト運営委員会
委員長 池滝 重隆

一般社団法人 日本歯車工業会

「次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト」
(略称: JGMATEpj)

2021年度事業報告

当工業会の企画事業であります「次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト」JGMATEプロジェクトに関しまして多大なご理解とご協力を頂きましたことを心からお礼申し上げます。本事業は、機械装置の性能を支える歯車用鉄鋼材料の品質を効率的且つ適正に評価できる新開発の測定装置を基に実使用鋼材のフィールドでの有用性を担保するための新評価法確立と合わせて、当該の評価法を日本製機械装置の性能向上と鉄鋼品質安定化に寄与し、国際競争力を高める強力な武器とすることを目的に、将来の新JIS規格化をめざして、平成28年度より活動してまいりました。

2019年度には本プロジェクト開始以来4年間に蓄積された技術的知見を基にJIS規格化の前段としての当工業会規格JGMATE9901-01:2020を作成、審議を行い、発行致しました。

JGMATE9901-01:2020

歯車用鋼材のマイクロビックカース硬さ分布の多点測定法とその評価

2020年度からはJIS規格化に向けた実績造りとして、制定したJGMATE規格に基づき各種材料データの蓄積を目標に進めておりますが、思うように進んでいないのが実情で、残念ながら本年度も硬度測定の依頼は少なく、データの蓄積までには至りませんでした。

硬度測定につきましてはHPのバナー「JGMATEプロジェクト事業報告」の「鋼材を調べてみませんか」に掲載しておりますので、引き続き本事業推進のための会員企業の皆様のお力添えを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上